

1. 事故概要

①発生日時： 2022年8月05日（金） 天候：はれ AM09：00分頃

②発生場所： ■■■■事業所倉庫付近

③概要： 作業準備のため事業所車庫内で資材等の積込準備中、右目下付近を蜂に刺された為、ポイズンリムーバーを使用し応急処置を実施し、その後エピペンの処方を実施。本人に症状はないものの、■■■■病院に搬送したもの。
診察の結果、蕁麻疹症状が見受けられたため点滴処置を行い、事業所へ帰着

④被災者： ■■■■ ■■■■ ■■■■（ハチ毒抗体検査済（R03.8.23）クラス 4）
一ヶ月後に再度抗体検査を実施予定

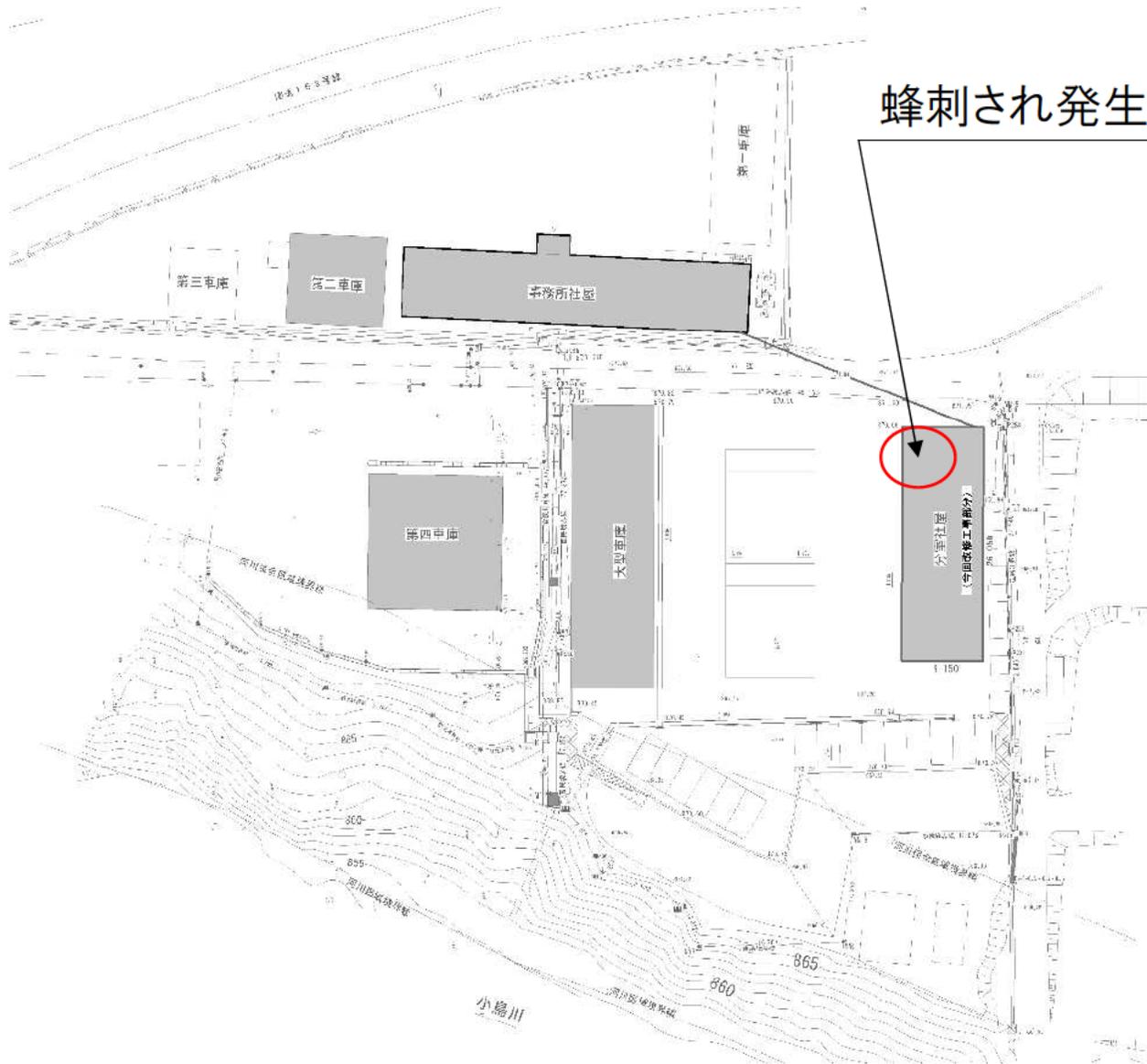
⑤時系列

8月05日（火） 08：30 朝礼開始
08：50 朝礼終了後、各作業班毎にK Y活動
09：00 作業準備開始し、事業所車庫内にて資機材の積込準備中、右目下付近を蜂に刺された為ポイズンリムーバーを使用し応急処置、その後エピペンの処方をする。
09：13 メンテ事務所発で■■■■病院へ向け出発。
本社及び■■■■保全サービスセンターに第一報連絡。
09：35 ■■■■病院着 緊急外来受診（本人は症状なし）
10：05 診察開始
10：15 アレルギーによる蕁麻疹症状あり。点滴処置開始。
11：05 点滴処置終了。
12：00 事務所へ帰着（内服薬、エピペン処方）

⑥再発防止策

- ①資機材等の準備する際、蜂がいる可能性がある為、十分目視確認する。（継続対策）
- ②作業準備を行う周辺に蜂が飛んでいる場合は蜂駆除スプレーで駆除するか、一時作業を中断する。（継続対策）
- ③倉庫棟建物の軒先に「ハチ誘因捕獲器」等の機器を設置する。（新規対策）

2. 位置図



蜂刺され発生場所 蜂刺され発生状況写真(再現)



3. 蜂対策について【過去の事象に基づき継続的に対応】

(1) 事前対策

- ①蜂毒アレルギー検査の実施と結果の自己確認、及びヘルメットへの「抗体クラス」表示
作業員本人が検査結果を自覚しておくこと、職長など周囲の人もわかるように！
- ②検査結果「抗体クラス3」以上の作業員は、極力草刈り作業より外す、又は、
外せない場合は医師の診断を受けたうえで自己注射（エピペン）を携帯する。
- ③蜂は一般的に黒いものを攻撃する習性があるため、黒い服装は避ける。
- ④一度蜂に刺されると抗体検査の結果が変化する可能性も考慮し再度抗体検査を実施すること。

(2) 草刈等作業前の対策

- ①応急対策備品の携行（ポイズンリムーバー、殺虫材、エピペン等）
- ②作業範囲に蜂などの害虫が発生していないかを人前調査で確認。
雑草が繁茂している場合などは、ポール等で害虫の有無を探索する。
事前調査時の服装は、蜂防護手袋など防護に特に注意する。（別紙）

(3) 作業実施中の対策

- ①蜂刺されと判明したらポイズンリムーバーにより応急処置を施し、
躊躇なく救急車を要請し、病院で診察を受けること。
- ②症状、救急車の到着時間等によっては、本人が医師の診断を受けている
との前提で自己注射（エピペン）の実施も行う。

抗体検査結果の判定基準

IgE抗体価	クラス	判定
0.34以下	0	陰性 -
0.35 ~ 0.69	1	擬陽性 ±
0.70 ~ 3.49	2	陽性 +
3.50 ~ 17.49	3	++
17.50 ~ 49.99	4	++
50.00 ~ 99.99	5	+++
100以上	6	



＜作業前の調査時の対応＞



＜ヘルメットへの「抗体クラス」表示＞



応急措置【ポイズンリムーバー】

DETAILS : 商品詳細

強力吸引で毒液や毒針を抽出



- 蜂や虫の危険な毒に、備えすぎの心配はない。
毒虫や毒蜂に刺されたり、咬まれた時は、直ちに体内に入った毒液や毒針を抽出しなければなりません。「ポイズンリムーバー」は毒液や毒針を吸引し作用で抽出する器具です。キャンプなどアウトドアライフで、医師の手当を受けるまでの応急処置として必需品です。また、ご家庭にもお備えいただく便利です。
- 強力吸引で毒液や毒針を抽出
刺された患部に密着させて大小の吸引カップがケース内4ヶ付属しています。ポンプのシリンダー内に特殊の弁があり、吸引時の空気の流速が針刺しに速いので、刺した後針を抜く毒虫等に有効です。
- ポイズンリムーバーの主な対象種
ハチ・ブユ（アブ・フト）・アブ・ムカデ・蜂（ドクガ科）・蜘蛛（イタダキ類）・蚊・ガン（ガンダシ）・蛇など



必ず持ってゆくこと！！

＜作業時の対応事例＞

蜂防護手袋



手袋(ロング)



脚絆



手首カバー

